

令和元年12月12日

長塚きらら

University of Washington - Seattle

2019年4月上旬から5月下旬、9月下旬から12月上旬まで在シアトル日本国領事館でインターンシップを行わせていただきました。コミュニケーション学を専攻しており、ラジオ局での広報活動は経験があったのですが、領事館という行政機関で広報に関するインターンシップははじめてとなりました。人に有益な情報をクリエイティブに伝えたい自分にとって学びの多い5か月でした。

経済・広報文化班でのインターンシップでは、ホームページや Facebook の記事を作成・翻訳、新聞記事の翻訳、日系人の歴史や日米での女性の社会進出に関するリサーチ・資料をまとめました。日本にルーツを持つ人々とシアトルの繋がりをまとめることを通し、留学しているこの土地にコネクションを感じることができました。また、データをわかりやすく人に伝えるという面でも資料のまとめ方や一目でわかるデータの比較方法を学びました。新聞記事の翻訳を通し、メディアでは読み手に同じ表現で物事を伝えたいよう気をかける一方で、館内でものごとを伝達したい場合はなるべく同じ表現を使い記事をまとめ、短時間で情報を伝える工夫するとよいということ学びました。

行政機関でのインターンは今まで以上に独創性を広報活動において求めていることが動画作りを通し実感できました。「レンジで簡単クッキング」を発案し、電子レンジだけで和食を作り、動画で配信するという企画を行いました。動画の作成・編集にもともと興味がありその特技を生かせるということで企画発案から実際に [Facebook](#)・[Youtube](#) ([動画1](#), [動画2](#)) に投稿することまでを行いました。領事館のようにリーチ層が幅広い場合どのような広報、SNS 投稿が求められているかということを考えることを自ら積極的行う必要性を感じました。

この5か月のインターンシップを通し、人々に物事を伝える方法は様々で、伝えたい人のことを考え工夫する必要性があることを気づきました。インターンシップを終了し大学で最終学年の課題として研究を行う中で、また大学を卒業後も領事館で学んだことを活かし頑張っていきたいです。お忙しい中、一から指導して下さった領事館職員の方々に大変感謝しています。情報を他者に伝える際欠かせない、相手を思いやり、常に伝わりやすい方法を大切にしている皆様のように、思いやりのある情報の伝え方を意識していきたいです。温かく迎え入れて下さった皆様に本当にありがとうございました。5か月の間、大変ありがとうございました。